

問1 日本における原油の輸入動向と、その背景にある日本のエネルギー供給上の課題を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. アメリカ合衆国からの輸入が半分を超えており、日米貿易摩擦を避けるために意図的に中東からの輸入割合を減らしている。 | 2. かつては中東への依存度が高かったが、近年は石炭と同様にオーストラリアからの輸入が急増し、特定の地域への依存問題は解消された。 | 3. 二酸化炭素の排出を抑えるため、原油の輸入量は天然ガスを上回らないよう法律で厳しく制限されており、輸入先も近隣のアジア諸国に限定されている。 | 4. 輸入先の約8割がサウジアラビアやアラブ首長国連邦などの中東地域に集中しており、現地の情勢不安が日本の経済に大きな影響を及ぼすリスクがある。 |
|---|---|--|--|

問2 泉北ニュータウンなどの計画的に開発された住宅地において、現在、生産年齢人口が減少し、急速な少子高齢化が社会問題となっている主な理由として、正しい説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 開発時の入居時期が重なったことで、住民が同じタイミングで高齢化を迎えたため。 | 2. 工業化に伴う環境変化により、年少人口の流入が行政によって制限されたため。 | 3. 都心部へのアクセスが悪化したことで、高齢者以外の住民がすべて立ち退いたため。 | 4. 土地利用の区分が変更され、住宅地から大規模な工場用地へと転換されたため。 |
|---|---|---|---|

問3 ビニールハウスや温室などの施設を利用して、農作物の生育を早めることで、本来の収穫時期よりも早い時期に市場へ出荷する栽培方法を何と
いうか、名称を答えなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 抑制栽培 | 3. 二毛作 | 4. 有機栽培 |
|---------|---------|--------|---------|

問4 日本の海上輸送による輸入品目の内訳を確認すると、日本の経済や人々の生活を支える特定の資源が高い割合を占めていることがわかります。
海上輸送によって運ばれる主要な輸入品目の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|------------------------|---------------|-------------|
| 1. 新聞・生鮮野菜・宝飾品 | 2. 集積回路 (IC) ・医薬品・電子部品 | 3. 原油・液化ガス・石炭 | 4. 生花・衣類・肉類 |
|----------------|------------------------|---------------|-------------|

問5 宮崎平野や高知平野などで盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を利用し、温暖な気候を活かして野菜の成長を早めることで、他の
地域よりも出荷時期を早める栽培方法を何といいますか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 工芸作物の栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 促成栽培 |
|---------|------------|---------|---------|

問6 ある県の農業統計において、果実産出額が約752億円に達し、それが野菜産出額の約6倍に及ぶという特徴があります。米や野菜に比べて果実の
生産に特化しているこの県はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 和歌山県 | 2. 静岡県 | 3. 茨城県 | 4. 山形県 |
|---------|--------|--------|--------|

問7 各都道府県の産業構造を分析した際、第3次産業の就業者割合が上位となる地域に共通する特徴として、誤っているものはどれですか。 (2019年
千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 政令指定都市などの大きな都市を抱え、行政サービスや情報サービスが集中している | 2. 人口が密集しており、卸売業や小売業といった商業活動が活発である | 3. 豊かな自然環境を活用し、就業者の大半が稲作や果樹栽培に従事している | 4. 世界的に有名な観光地を有しており、宿泊業や飲食業の雇用が多い |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|

問8 1980年代後半以降の日本では、円高などの影響により、製造業の企業が生産コストを抑えるために国内の工場を外国に移したことで、国内の生
産活動が停滞し、雇用が減少するといった課題が生じました。このような現象を何と呼びますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|---------------|
| 1. 産業の空洞化 | 2. 産業の高度化 | 3. 情報化社会 | 4. ベンチャー企業の育成 |
|-----------|-----------|----------|---------------|

問9 森林は私たちの生活に欠かせない多くの役割を担っています。このような森林が持つ多面的な機能のうち、環境保全や防災に関わる役割の説明
として最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 森林の土壌が雨水を一切通さないことで、降った雨をすべて短時間で河川へ流れ、地中の水分量を一定に保つ機能。 | 2. 光合成によって二酸化炭素を吸収し地球温暖化を抑制する機能や、樹木の根が土壌を固定して土砂崩れを防ぐ国土保全の機能。 | 3. 海水の蒸発を促進して降水量を増やす機能や、地下に眠る鉱物資源を樹木の成長とともに地表へ押し出す機能。 | 4. 地中から地熱を発生させて周辺地域の気温を上昇させる機能や、大規模な工業用地を確保するために平地を提供する機能。 |
|---|--|---|--|

問10 大規模な工業団地が造成され、自動車工場や機械の組み立て工場が数多く立地している地域において、他の地域と比較した際に就業者数の割合
が相対的に高くなる傾向にある産業分類として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 伝統的な技術を継承する家内工業や工芸品制作 | 2. 農業、林業、漁業などからなる第1次産業 | 3. 建設業や製造業などからなる第2次産業 | 4. 小売業、情報通信業、サービス業などからなる第3次産業 |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------------|

問11 1930年代後半から2020年にかけての日本における1人あたりの食料消費量の推移について、統計上の傾向を説明したものとして最も適切なものは
どれですか。なお、米は戦後一貫して減少傾向にある一方で、肉類などは増加傾向にあるものとします。 (2026年 山梨県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 高度経済成長期に一時的に肉類の消費が増えたが、1990年代以降は健康志向の影響で再び米の消費量が戦前と同じ水準まで回復した。 | 2. 食料自給率を向上させる政策が成功したため、戦後から現在にかけて米の消費量は一貫して増加し、肉類の消費量を大きく上回っている。 | 3. 高度経済成長期を経て国民の所得が増えたことで、食生活の多様化が進み、米の消費が減る一方で肉類や乳製品などの消費が増加した。 | 4. 生活水準の向上により、野菜の消費量は戦前から現在まで減り続けているが、その分を補うように米の消費量が急激に伸びている。 |
|---|---|--|--|

問12 日本の産業構造において、サービス業や情報通信業などが分類される「第3次産業」に該当する業種の組み合わせとして正しいものはどれですか。
。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------|-------------|---------------------------|---------------|
| 1. 卸売・小売業、金融・保険業、宿泊・飲食サービス業 | 2. 農業、林業、漁業 | 3. 電気・ガス・水道業、食料品製造業、土木建築業 | 4. 製造業、建設業、鉱業 |
|-----------------------------|-------------|---------------------------|---------------|

問13 ケニアでの井戸掘り支援などにおいて、あえて高度な最新機械を使わず、日本の伝統的な技術などを応用した支援が行われることがあります。
このように、現地の人々が理解しやすい技術や身近な材料を用いる主な理由として適切なものはどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 現地のコミュニティが自分たちの力で修理し、継続的に利用できるようにするため | 2. 日本国内で使われなくなった古い道具を有効活用するため | 3. 先進国が提供する支援予算を最小限に抑えることを最優先するため | 4. 現地の伝統文化を保護し、近代化をあえて制限するため |
|--|-------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|